

時 期	通年	時 間	午前 9:00~11:30 午後 13:30~16:00
費 用	50円 / 人	対 象	どなたでも



磯観察(BO)

磯遊び(BP)



<活動の概要>

砂浜や岩場からなる変化に富んだ大浜海岸は、自然の中で自由に遊び、海のことを学ぶには最適の場所です。特に磯溜まり(タイドプール)には、たくさんの生き物が見つかります。海に入り、箱メガネを利用し、磯の生き物(貝類・ウニ・ヒトデ・海藻類など)の観察ができます。

また、生き物だけでなく、浜やタイドプールに落ちているゴミにも注目することで、ビーチコーミング活動としてもよいのではないかでしょうか。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家



活動の様子がわかる
トビーチャンネル(3:10~)

活動のねらい

- 磯観察は、自分の目で見たり、手で触れたり、五感を使った直接体験を通して、海の生物などについての知識や興味・関心を高める。
- 磯遊びでは、自ら遊びを創造し楽しむ。
- 海の美しさや素晴らしさを体感し、環境に対する意識を高める。
- 活動エリアや定員などのルールを守り、安全に対する意識を高める。

準備物

自然の家で準備しているもの	個数	置場所	団体・個人で準備するもの
箱メガネ	30個	【ピロティ】	活動に適した服装（濡れてもよい服装）
たも	5本	【ピロティ】	※ラッシュガードをお勧めします。
バケツ	15個	【ピロティ】	タオル
水槽	6個	【海の学習室】	帽子
ライフジャケット（小・大）	約 300 着	【ピロティ前】	軍手
無線機	1台	【事務室】	かかとのとまるサンダル ※マリンシューズをお勧めします。 水分



箱メガネ



バケツ



たも



水槽



無線機



ライフジャケット
(左:子ども用、右:大人用)

活動の手順

所要時間 (目安)	項目	活動内容
活動前	準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無線機をお渡しするので事務室まで来てください。 ※ 着替えは原則「宿泊棟」でお願いします。退所日の場合は「研修室」等を割振りします。
15~20 分	活動方法 の説明と 安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ ライフジャケットを必ず正しく着用して活動してください。 ○ 安全管理(ライフジャケット)や道具の使い方(無くしたり壊したりしないような話など)について指導をお願いします。※詳しくは【指導上の留意点】をご参照。 <p>注意 岩場を歩くときは、足を置いて石や岩がぐらぐらしないか確認すること。 もし、不安定な時は、手で岩をつかんで、体を安定させるとよい。</p>
40~60 分	活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ タイドプールか赤石の浜に移動して活動を開始してください。 ※ 適度に休憩を取ってください。 ※ 緊急時の時は、無線で事務室に連絡してください。
15~30 分	上陸 片付け 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動が終了したら、人数確認、体調不良者の確認をし、「活動を終了する」旨を無線機で事務室にお知らせください。 ○ 使った道具は水道で洗って元の場所に戻してください。 ○ ライフジャケットは水洗いし、<u>ファスナーとバックルをしっかりと締めてハンガーにかけてください。</u> ○ <u>水気をふき取り、砂を払い落としてから館内に入ってください。</u>

あそびの極意

①ヒトデとにらめっこ!!

ヒトデをそっと水からあげて、「にーらめっこしましょ……あっへつぶ」でヒトデとにらめっこをしましょう。

ヒトデの顔はどこ?目はどこにある?口は?鼻はあるのか?

②ウニと握手!!

ウニをそっと水からあげて、握手をしましょう。このトゲは、手?ウニの手や足はどこにある?

③「Biome」のアプリを使ってレベルアップ!!

捕まえた生き物を「Biome(バイオーム)」アプリを使って撮影すると、生態等を調べることができます。

また、捕まえた場所をマップに登録することもできます!アプリ内のクエストに挑戦してレベルアップ。

ふりかえりの視点

- どんな海の生き物を見ることができましたか。
→種類よりも、生き物に関する不思議や疑問、「すごい!!」、「こうなっているんだ」の声を集めるのがポイント!!
- 海に入ってどんなことを感じたか。
→透き通る海の綺麗さ、活動エリア付近の状況(SDGsの視点)、意外とキレイ?意外とゴミが多い?など
- 活動を通して感じたことや意識したことは何ですか。
→海に入る楽しさ、海の生き物への興味関心、友達と協力して生き物を捕まえたことなど日常生活(学校)へ繋いでみてはどうでしょうか。総合の時間に調べてみる、「協力」を強調してみるなど

指導上の留意点

- 波などで流されてしまう恐れがあるので、必ず、かかとのとまるサンダルで活動してください。
石や岩場での活動なので、マリンシューズをお勧めします。
- 岩場での安全について、事前指導を十分にしてください。
特に、ライフジャケットの着用、岩場での歩き方、一人で活動しないこと、岩の外では活動しないことなどを伝えてください。
- 岩場の陰で見えなくなるデッドポイントもいくつかありますので、十分な指導・監視体制をとってください。
- 磯観察、磯遊びの場所は岩場やとがった貝など生息しているため、泳ぐことはできません。
水泳活動とは区別してください。
- タコや貝類、海藻類などの採捕は禁じられています。環境にやさしい、最小限の影響は何かをぜひ考えながら活動してください。
- **お貸しする無線機は陸上でご使用ください（防水ではありません）。**
- 突風、雷、暴風や波浪の警報、濃霧などにより、活動を中止とすることもあります。
- 海象状況によって活動ができない場合があります。
- 熱中症警戒アラートが発表された場合は、団体との協議の上、活動時間の短縮や活動を中止とする場合があります。

活動エリア

